

第3分科会

【テーマ】

住民本位の地域包括ケアとは

【ねらい】

現在、国が進めている「わが事・丸ごと」「地域包括ケア」は、高齢者をはじめとして障がいや保育の全分野にわたって、福祉を商品として購入することを強いられ、それができないなら地域住民どうしの助け合いを強制するなど、みずからの責任を後退しようとしています。そんな中で医療・福祉等の専門職として働く関係者が地域住民の生活を支える「専門性と連携の在り方」、公的責任の肩代わりが前提ではない本当の意味での「地域包括ケア」の在り方を現場から示していくことが重要となっています。

【基調報告】

生活者中心の統合的ケアを保障する自治型ケアシステムへの提言
—自助・互助・共助・公助の地域包括ケアシステムを乗り越えて—
岡崎祐司さん（佛教大学社会福祉学部教授）

【報告】

- ① 三つ葉の会の活動紹介 —堺市南区周辺の多職種連携推進の会—
嶋田一郎さん（嶋田クリニック院長・三つ葉の会会長
泉北医師協議会会長・大阪府保険医協会評議員会副議長）
- ② 「地域包括ケア」—高齢者虐待に見る地域と行政—
西井泰輔さん
（社会福祉法人こころの家族 堺市南第二地域包括支援センター）
- ③ 社会福祉法人、施設が進める地域福祉
山本智光さん
（社会福祉法人こばと会 特別養護老人ホームいのこの里施設長）